印象に残る教師像：現職教員への質問紙調査を通して（3）
―嫌いな教師像と自己認知像―

○杉山佳菜子（鈴鹿大学）　二宮克美（愛知学院大学）
山本ちか　（名古屋文理大学短期大学部）

キーワード：嫌いな教師像，自己認知像，現職教員

問題と目的

二宮・山本・杉山（2019）で大学生に半構造化面接で嫌いなタイプの先生を調査したところ，自分の価値観を押し付けたり，不平等で，感情的な先生が嫌われることが示唆された。本研究では，現職教員の嫌いなタイプの教師像を調査し，大学生の結果と比較する。また，自己認知像についても分析を行う。

方　法

調査協力者　教員免許状更新講習に参加し，調査に協力してくれた方のうち，小学校・中学校・高等学校勤務の先生 90 名の回答を分析対象にした。

手続き　調査用紙に，調査の目的，調査は強制ではないこと，個人情報の取り扱い，結果の公表等の倫理的項目について明記した。また，愛知学院大学総合政策学会研究倫理委員会の承認を得て研究を実施した。

調査内容　嫌いなタイプの教師像について「あなたが嫌いな先生は，どんなタイプの先生ですか。」と尋ねた。自己認知像については「あなたは，生徒から「どのような先生」とみられていると思いますか。」と自由記述で回答を求めた。

調査時期　2019 年（令和元年）6 月末および 8 月上旬。

結　果

嫌いなタイプの教師像

「あなたが嫌いな先生は，どんなタイプの先生ですか」の質問には，143（無回答５）の回答があった。これらを「授業・指導」「人への対応」「教師の性質」の３つのカテゴリーに分類した。

＜授業・指導＞に関する回答（24）　授業・指導に関する回答では「ダメなこと等，子どもに指導できない」「伝わらない怒り方をする先生」などの「叱り方」の回答が最も多く，授業や指導に関しては，授業スタイルではなく教員の態度・言動が嫌われる要因となることが推測される。

＜人への対応＞に関する回答（57）　「不平等な扱いをする」などの「差別的」，決め付ける・押し付けるといった「決め付け」，「生徒のことを考えない」などの「生徒を見ていない」，「高圧的・威圧的」に分類した回答が半数を占めた。その他，「質問をしても面倒臭そうに返す」などの「めんどくさそう」な態度や「言うことと行動が違う先生」という「言動不一致」などの回答があった。差別的な言動をする，高圧的・威圧的に自分の意見を押し付けるような先生は嫌われるタイプの教師と言える。このタイプの先生は大学生の嫌いなタイプとも一致している。

＜教師の性質＞に関する回答（61）　「固定観念にとらわれ，多様な価値観を認められない古いタイプの先生」「自分が生徒を変えてやる！と信じてやまない傲慢な人」などの「固執・思い込みタイプ」，「やる気がない」「なんとなく毎日を過ごし，なんとなく教育活動に取り組む先生」などの「いいかげんなタイプ」，「暗い」「冷たい」「怖い」などの「ネガティブな性格・言動」などを分類した。その他，大学生の嫌いな教師像には見られなかった「仕事をしない」「子どもの悪口を言う」「子どもが好きではなさそう」という回答があった。仕事に対しての取り組みが悪いと子どもからではなく，同僚から嫌われやすいタイプとなる。

＜その他＞　わからないという回答は１名いた。その他，中学時代に嫌いだった教師像を答えた者がいた。

自己認知像

自己認知像は「授業・指導」と「性格」の２つのカテゴリーに分類した。自己認知像の 90 の回答のうち，12 の回答が「優しいが怒ると怖い」のように対極のイメージが語られていた。このような場合は最初に書かれた自己認知像をカウントした。どちらにも分類できないものが４つあった。

＜授業・指導＞に関する自己認知像（14）　「ルールに厳しい」などの厳しい指導者であるという回答や，「わかりやすい」「ノートをしっかり見てくれる」などの指導方法に関する回答が多かった。このカテゴリーではポジティブ評価の回答とネガティブ評価の回答とどちらも語られていた。

＜性格＞に関する自己認知像（62）　最も多かったのは「親しみやすい・話しやすい」という自己認知像であったが，「怖い」という自己認知像も多かった。性格に関する自己認知像については，「まじめ」「元気」など，全体的に見るとポジティブ評価の回答が多かった。

引用文献

二宮克美・山本ちか・杉山佳菜子(2019).印象に残る教師像―大学生への半構造化面接を通して　愛知学院大学教職支援センター年報，1，3-15.